

山口情報芸術センター [YCAM] 集中ワークショップ

「RADLOCAL(ラッドローカル) “地域×メディア”」

2014年12月11日(木)～14日(日) ※11日は希望者のみ、12～14日は3日間通し
山口情報芸術センター [YCAM] 内スタジオA

地域からグローバルな創造性を生み出す！

次世代の「地域開発+メディア」プランナー育成ワークショップ

山口情報芸術センター [YCAM] では、「地域×メディア」をテーマに、幅広い発想力で地域課題、地域発信、公共空間といった問題へ取り組む次世代の「地域プランナー」を育成する集中ワークショップ「RADLOCAL(ラッドローカル)」を開催します。

今日の地域における大きな課題は、地域で暮らし、長期的展望のもとに活動を展開できる人材の不足です。このとき、ネットワーク技術やデジタル・ファブリケーションを始めとする「メディア・テクノロジー」が、その応用可能性、共有のしやすさといった要因から、突破口のひとつとして大きな注目が集まっています。

このワークショップでは、メディア・テクノロジーと地域の接点から新しい「まちづくり」を検討し、実践できるプランナーの育成を目指し、実践の経験が豊富な講師によるレクチャーやディスカッションをおこなうほか、YCAMが蓄積してきた技術的ノウハウや戦略などを紹介します。

日々更新するメディア・テクノロジーとともに地域について考えたとき、どのような創造性が生まれるのかーその可能性と課題を見つける4日間に、ぜひご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



11日のフィールドワークで訪れる予定の旧阿東町立亀山小学校

講師

- ・桂英史 (東京藝術大学大学院映像研究科教授)
- ・齋藤精一 (株式会社 Rhizomatiks 代表取締役)
- ・若林恵 (雑誌『WIRED』日本版編集長)
- ・渡辺ゆうか (FabLabKamakura, LLC 代表)
- ・小野裕之 (ウェブマガジン『greenz.jp』副編集長)
- ・明日香健輔 (阿東文庫)
- ・YCAM InterLab

プロフィール

桂英史 (かつら・えいし)

東京藝術大学大学院映像研究科教授

1959年長崎県生まれ。専門はメディア理論、図書館情報学。せんだいメディアテーク(仙台市)やメディアセブン(川口市)など、国内外で新しい公共文化施設のプランニングに携わる。主な著書に『東京ディズニーランドの神話学』(青弓社)、『インタラクティブ・マインド』(NTT出版)、『人間交際術』(平凡社新書)などがある。近刊に「美しい知の遺産世界の図書館」(監修・河出書房新社)がある。

若林恵 (わかばやし・けい)

『WIRED』日本版 編集長

1971年生まれ。フリーエディター/ライター。平凡社「月刊太陽」編集部を経て2000年に独立。カルチャー雑誌で記事の編集、執筆に携わるほか、書籍・展覧会カタログの企画・編集も数多く手がける。音楽ジャーナリストとして音楽雑誌各誌に寄稿するほか、ライナーノーツの執筆、音楽レーベルのコンサルティングなどもおこなう。2011年より『WIRED』日本版編集長。趣味はBOOKOFFでCDを買うこと。

小野裕之 (おの・ひろゆき)

『greenz.jp』副編集長/NPO法人グリーンズ理事

1984年岡山県生まれ。中央大学総合政策学部卒業。2009年からgreenz.jpに所属、2011年より副編集長。2012年にはgreenz.jpのNPO法人化にともない理事として経営に参画。NPO法人グリーンズの事業戦略づくりと、企業や行政に向けた事業の開発や営業、オペレーションの責任者。全国に広がるgreen drinksをサポートするgreen drinks Japan事務局。ライフワークとして、ソーシャルなスタートアップビジネスの事業化を支援。

YCAM InterLab

山口情報芸術センター [YCAM] に附属する研究開発チーム。「制作ラボ」「教育ラボ」「地域開発ラボ」の3つのラボから構成されており、YCAMが委嘱作品として発表するメディアアート作品やパフォーミングアーツなどの技術的な開発をおこなうほか、その成果を地域課題や教育への応用するための研究に取り組んでいる。

齋藤精一 (さいとう・せいいち)

株式会社Rhizomatiks代表取締役およびクリエイティブ・テクニカル・ディレクター/東京理科大学理工学部建築学科非常勤講師
1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学び、2000年からニューヨークで活動を開始。その後ArnellGroupのクリエイティブとして活動し、2003年帰国。2006年Rhizomatiksを設立。アート/コマーシャルの領域で立体・インタラクティブ作品を多数作り続けている。2009年~2014年国内外の広告賞を多数受賞。2013年D&AD Digital Design部門審査員、2014年カンヌ国際広告賞Branded Content and Entertainment部門審査員。

渡辺ゆうか (わたなべ・ゆうか)

FabLabKamakura, LLC 代表/慶應義塾大学SFC研究所訪問研究員

多摩美術大学環境デザイン学科卒業後、都市計画、デザイン事務所を経て、2010年ファブラボジャパンに参加。2011年5月に、東アジア初のファブラボのひとつである、ファブラボ鎌倉を田中浩也氏と共同設立し、2012年にFabLabKamakura, LLCを立ち上げ代表をつとめる。地域と世界を結び、デジタル工作機械の普及により実現する21世紀型の創造的学習環境構築に向けて、世代や領域を横断した活動を展開している。

明日香 健輔 (あすか・けんすけ)

有限会社FirstClass代表取締役/阿東文庫運営

1964年大阪府生まれ。神戸大学経営学部卒業。株式会社Roidを経て、2002年、(有)FirstClassを設立。ゼンリン地図システムのPDA版開発、セルシス社と共同で携帯端末向けコミックビューワ開発。その後渡米し、Amp'dモバイル(MVNO)向け携帯端末のUI開発指揮。2007年本社を山口に移転後、パイオニア社のサイクリングナビの企画・開発を行う。現在は、地元地域で田舎アプリの企画および開発に携わり、2009年より廃校利用による阿東文庫の運営に参加。

開催概要

「RADLOCAL (ラッドローカル) “地域×メディア”」

12月11日(木)～12月14日(日)

※11日は希望者のみ、12日～14日は3日間通し

radlocal.ycam.jp

11日(木)「フィールドワーク」

時間 13:00 - 20:30

講師：明日香健輔 + YCAM InterLab

12日(金)「リサーチ」

時間 10:30 - 20:30

講師：桂英史 + YCAM InterLab

13日(土)「テクノロジー」

時間：10:30 - 20:30

講師：斎藤精一 + 若林恵

14日(日)「コミュニティ」

時間：10:30 - 17:00

講師：渡辺ゆうか + 小野裕之

参加無料

定員：15名 ※要申込(11月20日締切)

申込方法

下記のウェブサイトアクセスし、「応募する」ボタンをクリック。フォームに必要事項を記入の上、送信してください。

radlocal.ycam.jp

応募者が定員を上回った場合は、選考のうえ、参加の可否をこちらからお伝えいたします。

主催：文化庁、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

制作協力：株式会社 Rhizomatiks、Fablab Kamakura、『WIRED』日本語版、greenz.jp、阿東文庫

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]